

別記第3号様式

意見公募(パブリックコメント)の結果

○件 名 第2期勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について
 ○意見等の募集期間 令和2年11月6日 ～ 令和2年12月4日
 ○意見等の受付件数 4 件

1. 寄せられた意見等を内容により整理し、意見等の概要として掲載します。

(1) 第2期勝浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)についての意見

番号	提出のあった意見等の概要	市の考え方
1	観光は地方創生の切り札とされる中、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくり(DMO)法人の登録を10月観光庁から受けました。 観光地域づくりの体制のあり方については、首長のリーダーシップが極めて重要ですが、合わせてDMO法人が地域の観光地域づくりの司令塔としての機能を最大限発揮できるよう、権限と責任を付与するとともに、DMO法人が実現しようとする目標や関係者全体の役割分担・取組内容について、自治体が策定する基本計画、観光振興計画等の制度に反映させることが重要だと考えます。 また、縦割りの行政でなく横断的に連携した行政を望みます。	新しい人の流れや関係づくりを構築するためには、観光振興が重要な施策と考えています。 市が策定する総合計画・観光基本計画等の施策や各事業の実施にあたっては、縦割り行政を解消するとともに、DMO法人等の関係者との連携による観光振興に努めます。
2	勝浦の現状から考えると、人口増よりも、人口減・現状維持の施策に力点を置くべきと考える。人口増は、他市町との統合以外に考えられない。	今回策定する第2期勝浦市まち・ひと・しごと総合戦略では、「人口流出の抑制・流入の促進及び多様な交流の拡大」「就労・結婚・子育てなどの社会環境の向上及び魅力ある地域づくり」を進むべき方向性として掲げております。 人口減少に歯止めをかけられるよう、安定して働くことができる場の確保などの4つの基本目標を達成させるための各種施策を実施したいと考えます。
3	小規模市の特色を生かしたまちづくりの推進に努めるべきと考える。スモールでも輝くまちづくり。どのように特色を出すか。	若者やテレワーク実施者にターゲットを絞った新しい働き方の提案や定住促進施策を実施するなど、首都圏に位置しながら自然豊かで風光明媚な景観を有する勝浦市の特色を活かした取組に努めます。
4	特色ある若者の獲得と若者が輝くまちづくりを目指す。	若者を獲得するため、若者やテレワーク実施者にターゲットを絞った新しい働き方の提案や定住促進施策を実施するほか、起業・創業・事業継承希望者に対する支援体制を強化し、勝浦市を生活の拠点としながら働くことができる環境づくりに努めます。 また、現在も勝浦中学校で実施している郷育プロジェクトなどを通じて、将来の勝浦を担う子どもたちの郷土愛を育む取組も継続して実施します。

5	人口減により、市民一人一人の生活機能が極端に低下しないまちづくりを目指す。生活機能を支える産業、交通、店舗などの保護と活用。	高齢化率が高くなることが見込まれる勝浦市では、地域コミュニティの持つ共助機能の維持・強化を支援するとともに、高齢者に対するタクシー券の交付等の生活支援施策を実施し、人口減少によって生活機能が極端に低下しないまちづくりを目指します。
6	正しい結婚観を若い人に育てる施策が必要。金を出す、だから子どもを産めという施策では、まず、女性の理解は得られない。為政者にも意識改革が必要である。	結婚を望む未婚者に対して男女の出会いの機会の仲介等、出会いから成婚までの支援をすることを目的とする勝浦市婚活支援員による結婚支援体制を構築しております。今後も婚活支援員と協力して、結婚のしやすい環境づくりに努めます。
7	小中学校の廃校をリフォームしたり、リノベーションしたりして、ベンチャー企業を誘致したり、ベンチャー企業を創設したりするのを、市で多くの面で、バックアップすることも一案かと考えます。 この時代ですから、リフォームしたら、外観や内装だけではなく、5G環境の整備はもちろんのこと、必要ならば、テレワークの設備も貸与する必要もあると思います。 このあたりは、以前の勝浦市商工会では、通産省と太いパイプがあったので、相談されるとよろしいかと考えます。 完成したら、廃校後に入所したベンチャー企業同士で、シェアハウスのような使い方をして、お互いの技術交流を図れば、より良いものができるのではないのでしょうか。 これらの施設を利用して、大人向けの塾の開設もいいかと思えます。 例えば、スマホ塾とかエクセル塾とか、あるいは、歴史の勉強で新渡戸稲造塾とか、絵画教室とか、子供達を集めて学習塾とか。 また、近年目立って多くなりつつある、病気がちで独居の方や、二人世帯でも高齢者同士の世帯のために、鴨川市や東金市で今、建設が急ピッチで進んでいる、「グループリビング』『高齢者等共同住宅』『グループホームではありません』などは、当の高齢者や、遠くに住んでいるそのご家族なども、老後を安心して過ごす事が出来ます。 何と言っても、急変時や救急車の手配など、一緒に住んでいる誰かが連絡してくれるので。 この施設はこれからの高齢化社会の福祉のためには、大いに必要かと思えます。 ましてや、入居者に依っては、介護保険は必要ないので、市にとっては財政的にも大いに検討する価値はあると思いますし、大きな意味では行政の世話になることは、微々たるものですので、小回りが利きます。	廃校活用事例には、IT系企業を中心としたベンチャー企業の集積地としてリノベーションし、地域活性化を図る自治体もあると認識しています。企業の集積が企業間交流を生み、そして地域との交流により化学反応が起きるという効果が期待されます。 本市におきましては、旧青海小学校に立地した企業により展開されているコワーキングスペース事業やシェアオフィス事業等を引き続きサポートするとともに、ワーケーションなど新しい働き方を導入する企業等に勝浦市を選んでもらえるような企業立地推進を目指しております。 また、高齢化率が高水準で推移する中、老後の安心を提供する施設は安心・安全な暮らしの確保につながるものと考えます。今後の施策実現に向け、グループリビングをはじめとする老後の安心を提供する施設の必要性に関する意見として参考とさせていただきます。

8	観光は、勝浦にはこれといった観光施設がないため、市外から遊びに来てくれたお客様を何処に連れていか悩みます。 結局、夏は鴨川シーワールドや秋には大多喜の養老溪谷や春にはマザー牧場に行くしかありませんでした。 「かつら広報11月号」にも市内の施設が、何か所か掲載されていましたが、神社仏閣や旧跡を見て面白いと思いますか？ それよりも、30年前頃、県内のあちらこちらの道の駅を視察に行きました。このような施設が勝浦にもあったならと、話した事がありました。 海産物や野菜などの即売所やお土産売り場などはもちろんのこと、大きな食堂も併設した施設があり、駐車場も完備されていれば、勝浦市のためにもあるいは、雇用の機会の創出にも貢献できるのに。と話していたことがあります。 このような施設が出来れば、すそ野も広く、多くの業種のためにも貢献できるのにと考えていました。 ただし、今では道の駅は、ほぼ飽和状態なので、今更作るとなると、よほど斬新か、目立つ仕組みが必要です。	現在、健康志向の高まり等の来訪者ニーズに対応した、スポーツや海洋性レクリエーションといった体験型観光の推進を目指しております。また、令和2年度の事業として観光基本計画の策定に着手しており、今後は、この観光基本計画に基づき、観光振興を図ります。
9	交通インフラ充実のための定期的な外房サミット開催を求めます 人口減少、街の衰退の第一要因は交通インフラの不備と考えます。人がいなくなっている地域に道路を通してどうするんだ？と反論される方がいますが、県内においても人口増加している地域は鉄道や高速道路が整った地域です。データは明確です。人口増加が先かインフラ整備が先かの選択の問題は明確で、先に交通インフラありきです。交通インフラの充実なくしての人口増加は超超難題です。 具体的には高速道路の開通、鉄道の複線化になりますが、これは一市町村がやんやと騒いでも進みにくいものと考えます。 そこで、近隣多市町村と交通インフラの充実を国や県に対して、チームを組んで共闘していただきたいと思います。 大多喜、御宿、いすみ、鴨川の市長、町長、市議会議員、県議会議員、市役所都市計画課職員と交通インフラの充実をはかるための外房サミット(仮題)を毎年開いて、少しでも前進させて頂けないでしょうか。	交通インフラの充実は、人の住みやすさ、働きやすさに影響する要因の一つと考えております。 そのため、鉄道や国道・県道の整備促進に向け、従前から、市単独の活動に加えて近隣市町村との連携や政党を通じた要望活動を行っているところです。 しかしながら、交通インフラの充実の実現には不十分であり、今後はより効果的な活動の検討、実施に努めます。

2. 寄せられた意見を考慮し、別紙のとおり修正を行いました。

※ 勝浦市情報公開条例第6条に規定する不開示情報、情報、政策等の策定に係わりのないもの及び賛否の結論のみを示したものについては、掲載を省略することがあります。

修正箇所新旧対照表

ページ 番号	修正後	修正前
9	●施策の方向性 商工業においては、日々の消費活動における利便性の確保や、雇用の創出による地域経済の活性化を図るため、商工会と連携し、商店街組織の強化及び活性化を促進するとともに、インターネット販売やキャッシュレス決済サービスの普及など、経済活動を取り巻く社会変化や消費者ニーズに対応した新しい事業展開を志す事業者に対する支援の充実を図ります。 また、テレワークをはじめとする多様な働き方が進むなか、<u>ワーケーションなどの新しい働き方を導入する企業等に勝浦市を選んでもらえるように、企業ニーズを見極めつつ、遊休施設等を受皿とした企業立地を促進します。</u>	●施策の方向性 商工業においては、日々の消費活動における利便性の確保や、雇用の創出による地域経済の活性化を図るため、商工会と連携し、商店街組織の強化及び活性化を促進するとともに、インターネット販売やキャッシュレス決済サービスの普及など、経済活動を取り巻く社会変化や消費者ニーズに対応した新しい事業展開を志す事業者に対する支援の充実を図ります。 また、テレワークをはじめとする多様な働き方が進むなか、<u>企業ニーズを見極めつつ、遊休施設等を受皿とした企業立地を促進します。</u>
10	●施策の方向性 本市の特性である、温暖な気候や、海と緑の美しい豊かな自然などの地域資源や、四季を通じて開催している勝浦朝市、各種イベントの実施による観光振興施策を切れ目なく実施するとともに、農林水産・商工・観光など分野を超えた横断的取組やDMO法人等の関係者との連携を図ることにより、地域の稼ぐ力を引き出し、観光産業の更なる発展を目指します。 また、魅力的な観光地の基盤づくりを強化するため、観光業関係者、農業・漁業などの関係者と連携して新たな体験型観光メニューを開発するなど、滞在時間の延長及び交流人口の増加を目指します。	●施策の方向性 本市の特性である、温暖な気候や、海と緑の美しい豊かな自然などの地域資源や、四季を通じて開催している勝浦朝市、各種イベントの実施による観光振興施策を切れ目なく実施するとともに、農林水産・商工・観光など分野を超えた横断的取組とすることで、地域の稼ぐ力を引き出し、観光産業の更なる発展を目指します。 また、魅力的な観光地の基盤づくりを強化するため、観光業関係者、農業・漁業などの関係者と連携して新たな体験型観光メニューを開発するなど、滞在時間の延長及び交流人口の増加を目指します。
18	●施策の方向性 地域の高齢化による担い手不足やコミュニティの弱体化が懸念される中、<u>高齢者等にとって安全で安心な暮らしが確保されるよう市民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うなど、支え合いの仕組みづくりを推進します。</u> また、<u>自らの命は自らが守る「自助」、ご近所や地域の主体のほか各種市民活動で共に助け合う「共助」及び行政が救助・支援を行う「公助」の連携により、消防・防災・防犯対策等を推進します。</u>	●施策の方向性 地域の高齢化による担い手不足やコミュニティの弱体化が懸念される中、<u>地域で安全で安心な暮らしが確保されるよう市民の心身の健康保持及び生活の安定のために必要な援助を行うなど、地域における支え合いの仕組みづくりに加え、自らの命は自らが守る「自助」、各種市民活動や地域の主体で共に助け合う「共助」及び行政が救助・支援を行う「公助」の連携により、消防・防災・防犯対策等を推進します。</u>